

バスケットボール大会

第43回各字対抗バスケットボール大会が7月30日、8月6日に行われ、男子12チーム、女子7チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

女子決勝は、昨年と同じ組み合わせとなり、連覇のかかる恩納区体協が終始試合をリードし、優勝しました。

男子決勝は、昨年優勝の恩納区体協と昨年若い力により躍動を見せた前兼久区体協の組み合わせとなり、前半は競り合いをみせていましたが、後半は恩納体協が点数を徐々に突き放していき、見事連覇と男女アベック優勝することが出来ました。

選手・大会関係者並びに応援に駆けつけてくださった皆さまお疲れ様でした。



こどもかがく教室 2017

8月21日から25日にかけて、ふれあい体験学習センターにおいて、毎年恒例の「こどもかがく教室」を開催しました。幼児から中学生までの子供たちが、教室や屋外、そしてビーチでも科学アクティビティーを楽しみながら体験しました。

今年は6つのクラスが開かれ、化石の発見や飛行機を飛ばしてみる実験などが行われました。5・6年生クラスに参加した鈴木恵美花さんは、コンピュータゲーム「Pong」を作る方法を学びながら、「(大きくなったら)プログラミングでゲームを作りたい。」、同じクラスの神山萌夏さんも「楽しいよ!」と感想を語っていました。



小学1・2年生の「うみのいきものをさがしてみよう」クラスでは、海洋動物の探索と採取のために海岸を訪れました。生き物を集めた後は、それらを教室の近くの水槽に入れて、行動を観察しました。

幼児クラスを教えたOISTスタッフのサラ・ウォンさんは、「新しいことを発見した子供たちの顔を見るのは、私にとっても大変な喜びです」と話します。

恩納村の子供たちが科学とともに夏を楽しみ、今後も科学を身近に感じながら学び続けることにつながればと願っています。

